

6 その他の教材

6-31	幻想的な光の世界	S部門	中学部
6-32	防災ポスターを作ろう	S部門	中学部
6-33	誰でもキーボード	S部門	中学部
6-34	なりたい・ありたい姿の実現を目指す	S部門	中高部
6-35	叩き染めマニュアル	S部門	中学部
6-36	ヤムイモ掘りをしよう！！	S部門	中学部
6-37	ボールでスイッチON♪	S部門	中学部
6-38	補助バンド	S部門	高等部
6-39	さして、光らせよう	S部門	高等部
6-40	目指せ！自分らしい豊かな生活実現	S部門	高等部

幻想的な光の世界 ～柔らかな明かりに注目してみよう～



水センサーライト

水を浸した
ティッシュ

食品の小分け
保存用容器。
布テープで壁
に貼る。

LEDキャンドル拡大図

対象となる児童・生徒

S 部門 中 学部

(A学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

動くものをしっかりと追いかけて見ることのできる生徒もいれば、光を感じる程度の見え方の生徒もいる。ほとんどの生徒が、見ることに課題をもっている。

ねらい

暗くした教室の中で、LEDキャンドルの明かりを灯し、サンタクロースに扮した教職員によるギター演奏を行うことで、注視する力の伸長を促す。

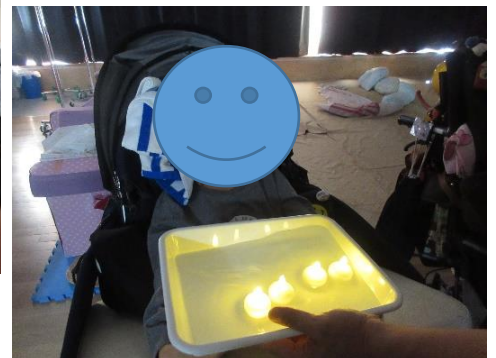
ポイント

- ・水に浮かべるだけで明かりがつくので簡単!
- ・柔らかい光なので、児童・生徒の目に優しい!

教材の使い方、指導の実践例など

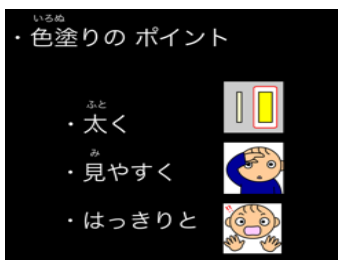
LEDキャンドルを使った灯籠

プラスチック製のトレイや透明なアクリルケースに水を入れ、LEDキャンドルを浮かべると、灯籠流しのような雰囲気が出ます。生徒の前にLEDキャンドルを提示すると、笑顔を浮かべたり、じっと光を見つめたりする様子が見られました。



防災ポスターを作ろう

～防災ポスターコンクールに応募しよう～



対象となる児童・生徒

S 部門 中 学部

(D学習グループ)

知的障害を併せ有する 教育課程
意志表出ができ、選択肢から選ぶことができる。上肢に麻痺のある生徒もいるが、支援があれば自ら手を動かすことができる。

ねらい

- ・防災をテーマに、生徒が経験したことや興味・関心のある内容を元に発想する。
- ・太く、見やすく、はっきりとしたポスターを作成する。

ポイント

- ・手順を明確にして、誰でも選んで作ることができるようにした。
- ・背景と字の色を反対色にすることを意識する様子が見られた。

教材の使い方、指導の実践例など

防災ポスターの作り方

- ①どの災害にするかを選ぶ(地震、津波、火山噴火、台風、豪雨、豪雪)。
- ②描く内容を選ぶ(防災グッズ、人間が避難する様子、ボランティアや訓練)。標語は、標語一覧から選ぶ。
- ③下書き(鉛筆で書いた後、黒の油性ペンで描く)。
- ④色塗りのポイント(太く、見やすく、はっきりと)を確認。はっきりとみせるには、字と背景の色に反対色を使用することを確認(反対色カード)。
- ⑤標語の位置を決める
- ⑥絵と標語を紙でマスキングして、背景をローラーで塗る。
- ⑦絵をアクリル絵の具で塗る。
- ⑧予め転写しておいた標語をポスカでなぞり書きする。



誰でもキーボード ～スイッチを使ったキーボード演奏～

対象となる児童・生徒

S 部門 中 学部

(D学習グループ)

知的障害を併せ有する 教育課程
鍵盤を弾くことは難しいけど、曲の中で自分の演奏によってハーモニーを感じられるよう、スイッチで演奏できるキーボードを作成した。

ねらい

- ・合奏の中でハーモニーを感じる。
- ・合奏の中での役割を知る。

ポイント

- ・1オクターブそれぞれの音にジャックがついているので、複数で和音を作ることができる。
- ・キーボードに手が届かなくても手元で操作できる。



教材の使い方、指導の実践例など

- ・合奏する曲に合わせて演奏する音を決める。
- ↓
- ・演奏する音のジャックにスイッチをつける。
- ↓
- ・曲に合わせて演奏しよう！

今年度は「歓喜の歌（交響曲第9番）」で合奏をした。筋緊張の強い生徒でいつもできる楽器が限られてしまっていたが、このキーボードと楽譜を準備したことで、やる気も高まり、楽譜を見ながら演奏して達成感を得ることができた。

なりたい・ありたい姿の実現を目指す！ ～目標達成シート～

中学部 知的代替のグループ目 標達成シート

中学部 目標達成シート「キャッチ・ドリーム・チャレンジ」

A 学習		B 生活	
漢字の書き順を覚える。		一人で留守番する。	
日	月	年	時
26	10	2019	11:00
27	10	2019	11:00
28	10	2019	11:00
29	10	2019	11:00
30	10	2019	11:00
31	10	2019	11:00

高等部 目標達成シート「ドリチャレGO」

今日の目標的行動目標	主語を忘れないこと		日
★今日の行動目標達成した日(○) 日(△) 既(既) 未(未) 未(未) 未(未) 未(未) 未(未) 未(未)			
日	月	年	時
26	10	2019	11:00
27	10	2019	11:00
28	10	2019	11:00
29	10	2019	11:00
30	10	2019	11:00
31	10	2019	11:00

高等部 知的代替のグループ 目標達成シート

対象となる児童・生徒

S 部門 中高 学部

(D/E学習グループ)

準ずる 知的障害を併せ持つ 教育課程 知的代替の課程・表出言語あり意思を伝えることができる・パソコンなども操作できる 生徒がいる。

ねらい

自分で目標設定をして振り返る。自分の課題に気づき、解決の方策を考えるためのシートとして活用。

ポイント

生徒の実態に応じてシートを工夫する。できなかったことではなくできたことを評価し、自己肯定感を高め、自分の生活を自分で計画できることを目指す。

教材の使い方、指導の実践例など

個別学習で実施する。毎日継続して行い週間経ったら振り返り、教員からコメントをする。学習意欲を高めるために目標達成シートのネーミングを生徒自身が考えて決める。

中学部 →キャッチ・ドリーム・チャレンジ

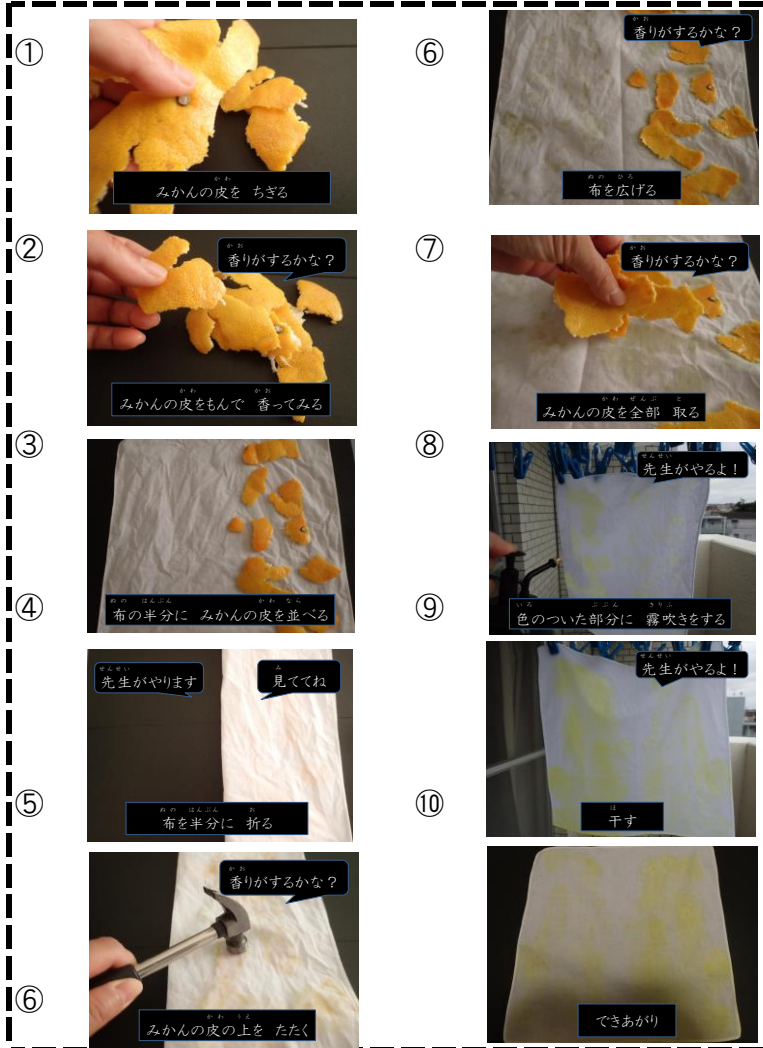
1日の目標と振り返りをする。学習と生活に分けて目標を設定する。基本的な生活習慣として挨拶・服装をチェックする。起床時間・就寝時間を記入する。

高等部 → ドリチャレGO！

1日の流れで各授業ごとに目標を設定し振り返る。改善点より自己肯定感を促すために良かったことやできたことに注目して書くように指導する。基本的な生活習慣として挨拶・服装・掃除・食事などを自己評価し、毎日 起床時間・就寝時間を記入する。

叩き染めマニュアル

～視覚的に、より分かりやすく～



対象となる児童・生徒

S 部門 中 学部

(A学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

繰り返しの学習により、少しずつやる事が理解できるようになってくる生徒たちである。体調が整わなければ学習に参加することが難しい生徒もいる。

ねらい

- ・五感の中で、香りを感じる学習に取り組む手段として、叩き染めを学習する。
- ・叩き染めの手順に見通しをもつ。

ポイント

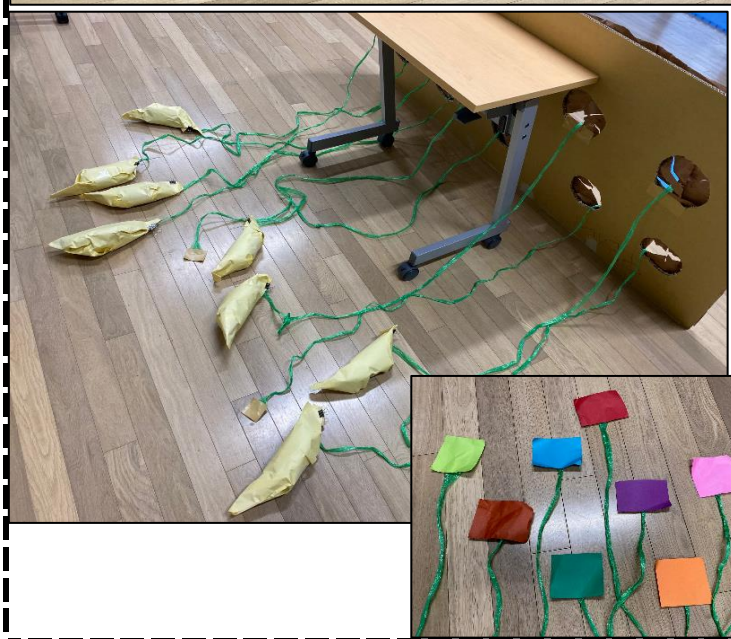
- ・まず、仕上がりの画像を見ることで、何をやるのかが分かるようにした。
- ・作業手順の順番に提示できるように束ねておくことで、手順の見通しがもてるようにした。
- ・自分が取り組む部分と先生が行う部分を明確にした。

教材の使い方、指導の実践例など

- ・香りを取り扱う学習自体があまりなく、その題材を探すうちに、叩き染めに出会った。
- ・生徒は香りを感じると、口を動かしたり、香りを感じ取ろうと深呼吸したりなど、それぞれの反応を示した。
- ・生活単元学習で、叩き染めの単元を行う際に、使用するためのスライドとして作成した。叩き染めのやり方説明で、使用する。
- ・これを見て取り組める生徒がいる場合には、1枚ずつ、やる順番に貼り出すこともできる。

ヤムイモ掘りをしよう！！

～オリパラ学習 ナイジェリアの主食～



対象となる児童・生徒

S 部門 中 学部

(B 学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

生徒9名全員が安定して元気に登校し、授業もしっかりと受けることができている。障害が重度の生徒も在籍し、健康観察や個別の学習支援を要する。

ねらい

教室に模擬畑を設け、ひもを引っ張ってヤムイモを収穫する。自ら手を動かしてヤムイモをゲットし、達成感や喜びを味わう。

ポイント

- ・収穫の達成感や喜びを味わうために、時々ハズレも混ぜた。
- ・どのツルを引っ張るか、各生徒が選ぶことのできるよう、持ち手に様々な色を付け、好きな色を選択させた。

教材の使い方、指導の実践例など

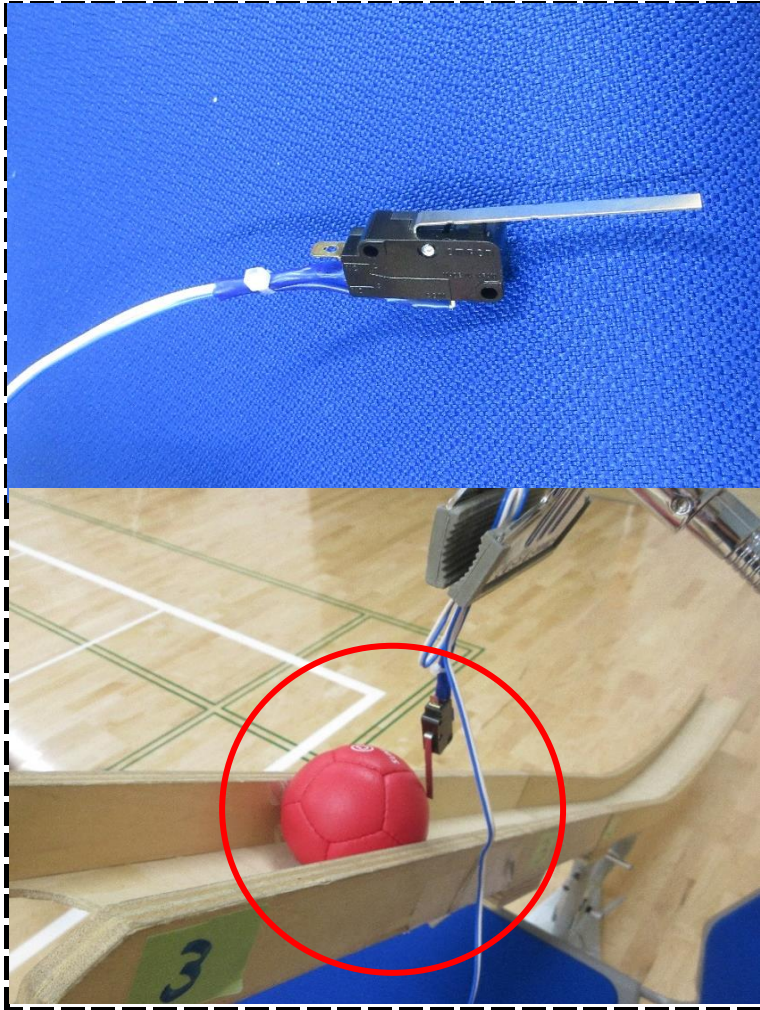
教材について

- ・土に見立て、シワシワにした茶色い画用紙を貼った穴あき板段ボール。
- ・紙で作成した、ナイジェリアの主食ヤムイモ。
- ・緑のひもで作ったツル。その一端に様々な色の持ち手、もう一端にヤムイモ。

生徒の活動や変容

- ・複数の色の持ち手の中から、好きな持ち手を選ぶ。
- ・ツルを引っ張ってヤムイモを収穫する。(たまにハズレあり)
- ・最後に、みんなで収穫したヤムイモを囲んで、収穫祭を行う。
- ・自ら手を動かして収穫したことに対し、達成感や喜びを味わうことができた。
- ・繰り返し活動をすることで、因果関係に気付いたり、見通しをもって活動したりできた。

ボールでスイッチON♪ ～球技が楽しくなる Hanging Switch～



対象となる児童・生徒

S 部門 中 学部

(A学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

- ① 自発的に指や腕を動かして、ボールを転がすことが課題の生徒のための教材。
- ② 弱視の生徒に、ボールの位置の変化を感じさせるための教材。

ねらい

- ① ボールを転がすと、好きな音や音楽が流れることに気付き、自ら意欲的に指や腕などを動かして投球する。
- ② ボールの位置の変化を音で感じる。

ポイント

- ・最も弱い力で作動するスイッチに、柔らかめのプレートをつけたものをゲートの様に垂らすことで、ボールがスイッチに引っかからずに通過し、スイッチが入る。
- ・ボイスレコーダーを接続することで、好きな音や音楽を流すことが可能。

教材の使い方、指導の実践例など

😊実態やねらいに応じて、使い方は色々😊



的を倒せたら音が出るように設置し、音で結果をフィードバックすることにも使用可能！

投球直後に音を出して気付かせたい場合は、ランプスの上部に設置する。

ボールの位置の変化を感じさせたい場合は、ランプスの下部に設置して時差を作る。



補助バンド ～持つ感覚を養おう～

対象となる児童・生徒

S 部門 高 等 部

(B学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程
自分の力で教材等を持つ・持ち続けること
が難しい生徒



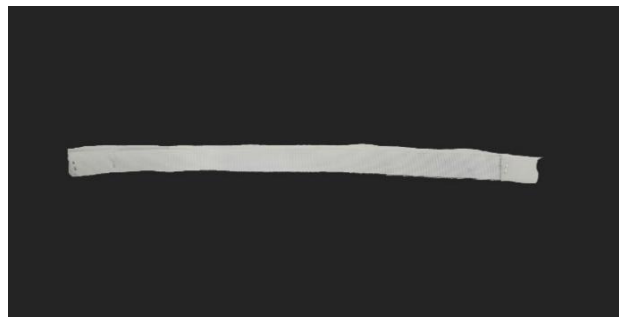
ねらい

自分で持つことは難しいけれど、手で持つ感覚を養えるように・持ち続けることで作業ができたと思えるような活動に繋がられたらと考えました。

ポイント

- ・ゴムを使うことで手に負担が少なく、どの生徒にも比較的合わせやすいように考えました。
- ・ゴムの両端にはマジックテープを使い取り外しをしやすいようにしました。

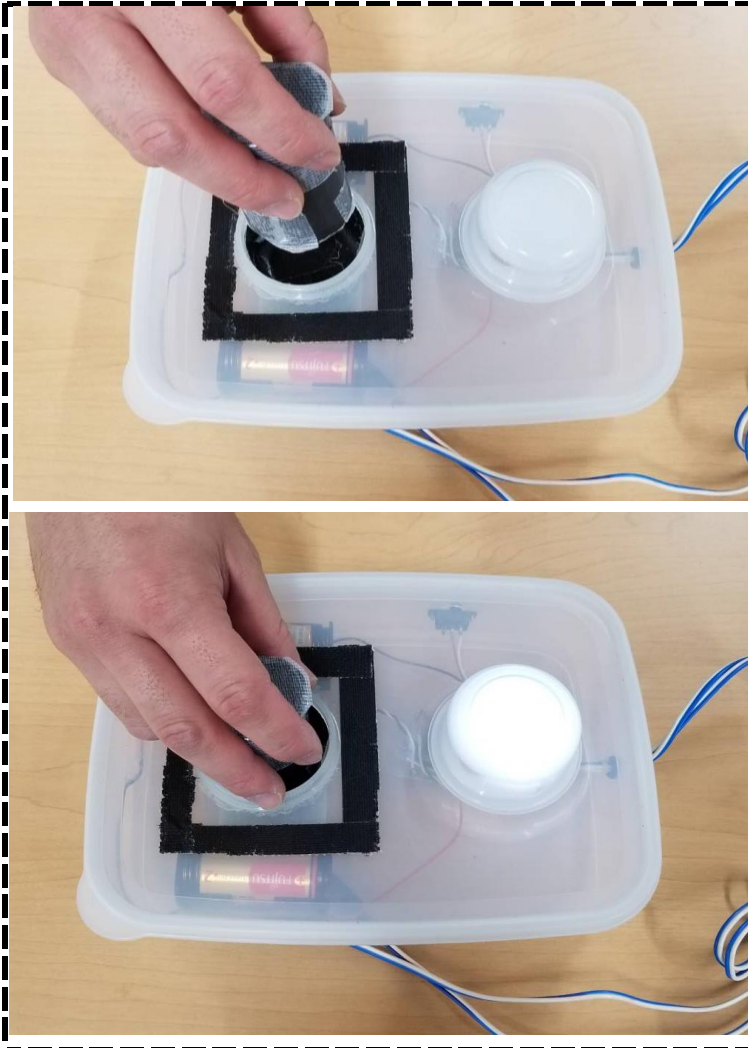
教材の使い方、指導の実践例など



- ①親指人差し指の付け根に挟む。
- ②手の甲に回す。
- ③手首で一周してから手に持ちたい対象物を挟みマジックテープ同士を付ける。

さして、光らせよう

～因果関係の理解と目と手の協応を育てる～



対象となる児童・生徒

S 部門 高等部

(C学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

- ・単純な因果関係の理解が難しい生徒
- ・目と手の協応が難しい生徒

ねらい

- ・自分の行動による因果関係を理解する
- ・目と手を協応させて棒をさして光らせる。

ポイント

握りやすい大きさの、電池の入った黒の棒を穴にさし込むことでライトが光る。

教材の使い方、指導の実践例など

- ・個別学習の時間に使用する。
- ・お手本を見せてから、一緒に黒い棒持って穴にさす。繰り返し行うことで、黒い棒を穴にさすとライトが光ることが分かっていく。
- ・一人でできるように、黒い棒を利き手側に寄せ、指差しや言葉かけをすることで、黒い棒を穴にさし、ライトが光るという因果関係が理解が深まっていく。
- ・視線や手元を動きに注目し、できた時には称賛する。

目指せ！自分らしい豊かな生活実現 ～「進路だより」を活用した進路情報の提供・周知～

進路だより 第5号

令和2年5月14日(水)発行
監修：立川尚学部長 担当：支那経路指導

<進路について学ぼう「自己実現に向けて自分らしい進路について」>
進路指導、学校生活全般、日々の指導の中で進路について、小学入学期から高学年まで進路に関する指導を行っています。一人一人の個性や生活リズム、興味、関心や進路ニーズに合わせて、充実した「自分らしい豊かな生活」を実現する。進路、生活のペースに合わせて進路指導について学びます。

<進路だよりに掲載している進路情報について>
掲載している進路情報は、進路指導の観点から、進路実現のサポートに役立つ情報を掲載しています。進路指導の観点から、進路実現のサポートに役立つ情報を掲載しています。

進路だより掲載記事一覧表

掲載している進路情報は、進路指導の観点から、進路実現のサポートに役立つ情報を掲載しています。

進路だより 第31号

令和2年12月23日(水)発行
監修：立川尚学部長 担当：支那経路指導

<進路指導も学びを深めよう「生活学習フォーラムの開催について」>
生活学習フォーラムは、進路指導の観点から、進路実現のサポートに役立つ情報を掲載しています。

<「AI・ドローン・プログラミング」の活用による進路指導について>
AI・ドローン・プログラミングの活用による進路指導について、進路指導の観点から、進路実現のサポートに役立つ情報を掲載しています。

進路だより掲載記事一覧表

掲載している進路情報は、進路指導の観点から、進路実現のサポートに役立つ情報を掲載しています。

対象となる児童・生徒

両部門 全学部

(全学習グループ)

全ての教育課程

主な対象は上記のとおり、本校に在籍するすべての児童・生徒及び保護者とし、校内掲示板にもデータをアップすることで、全教職員へも最新の進路情報を周知している。

ねらい

多様な進路ニーズに対応すべく、本校児童・生徒の自分らしい豊かな社会参加・貢献と自立・自律に資する関係諸機関(企業、大学、訓練校、通所施設、行政など)からの最新の進路情報を掲載・周知する。

ポイント

- ・約1週間に1号のペースで発行し、定期的に進路情報を目にする機会を確保する。
- ・アクセシビリティ向上のため、掲載記事にQRコードを活用する。
- ・掲載記事のポイントは表やイラスト、下線を付けて見やすくまとめている。

全国に配布されるので、個人情報の確認を。

教材の使い方、指導の実践例など

- ・在籍児童・生徒及び保護者へは、A4両面印刷プリントを配布し、障害福祉サービス利用や進学(高校、大学、専門学校等)・就労の進路選択・決定、様々な進路行事への参加を促している。
- ・教職員へは、業務端末上の掲示板にデータをアップし、日々指導している児童・生徒への進路指導や保護者との面談場面で活用している。
- ・掲載情報は、SB両部門の児童・生徒及び保護者、教職員が有効活用できるように、障がい種別・年齢等に関わらず、幅広い進路情報を収集・選択している。
- ・掲載した記事の内容等について、保護者からの連絡帳や電話などの間接的な問合せだけでなく、児童・生徒から直接質問される場面が増えてきている。
- ・ペーパーレス化に伴い、情報発信方法の見直しが今後の課題となっている。